

# サービス改善への取り組み

## 行橋園の取り組み



介護老人保健施設

行橋園

看護副部長

椋本 初美

看護師として、医療の現場から老健施設行橋園に勤務移動となり、四年目になります。

勤務当初は、多職種間協働の中にあって、施設での看護師の役割は何かと、戸惑いと疑問の中での仕事でしたが、入所者の方々の笑顔や、スタッフ間の支援・協力を頂きながらの日々の経過の中で、園の理念に沿いそして、より入所者の立場に立った上での目標として

できる事は、どんな小さな事でも自分で行って頂くという “自立支援”

入所者様の最大の望みである“自分の家に帰りたい”という “在宅支援”

以上二つの事が確固たる事となってきました。

目標達成の為 多職種間協働による取り組みとして 先ずは、園生活の身辺ケアの充実、そして生活リハを基本としながら、園の年間行事として恵まれた自然環境を活かしての四季の花々を楽しんで頂く園外散歩や、バスハイクでの花見・ 又週一回ボランティアさんによる喫茶のサービス そして、家庭的な雰囲気味わって頂けるよう 時にはご家族の方々のご参加頂いての、毎月毎の誕生会や、季節に合わせた、ひなまつり・ミニ縁日等々 職員手づくりの行事を、職員一丸となり行っております。

今後も多職種とのチームケアを行っていく上で、看護師として、入所者の方々やご家族の方がたとの関わりの中で、多くを学ばせて頂く姿勢を持ち、又各入所者の方々が安心して健康生活を送っていただける様 入所者様の疾病の再発防止の為常に、“予防的視点を持ち日々のケア”を続けて行きたいと思えます。